競　技　注　意　事　項

１．本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に従って実施する。

２．招集について

　(１)競技者の招集は，トラックはスタート地点，フィールドは競技場所へ集合し，以下の決められた時間までに審判員に点呼を受けること。

|  |  |
| --- | --- |
| トラック競技 | フィールド競技 |
| 競技開始１５分前 | 競技開始４０分前 |

　(２)招集の手順

　　①競技者は出場種目の招集時間に各種目の競技場所で点呼を受け，腰ナンバー標識を受け取り，競技用靴等の点検を受ける。

　　②代理人による点呼は認めない。ただし，２種目を同時に兼ねて出場する競技者は，あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

　　③招集時間に遅れた競技者は，当該種目を棄権したものとして処理する。

　　④リレーのオーダーについては，招集完了時刻の１時間前までに大会本部(２０４号室)まで提出すること。(用紙は大会本部(２０４号室)に準備する)

３．ナンバーカードについて

　(１)トラック競技に出場する競技者は，現地で競技者係から渡された腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。

(２)ナンバーカードは，ユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし，跳躍種目については胸または背部のいずれかでよい。

　(３)主催者側でナンバーカードを準備しないため，各県使用のナンバーカードを準備すること。

４．競技場について

　　競技場は全天候舗装である。スパイクのピンの本数は11本以内で，長さ9mm以下とする。

　ただし，走高跳とやり投は，12ｍｍ以下とする。また，スパイクの先端の直径は4mm以下とする。

５．競技について

　(１)トラック競技はすべて写真判定装置(全自動電気時計)を使用する。

　(２)トラック競技のレーン順及びフィールド競技の競技順は，プログラム記載順で行う。

　(３)スタート合図は，イングリッシュコマンドで行い，不正スタートは１回目から失格とする。

　(４)スタート時に他の競技者への妨害等の不適切な行為があった場合は，警告を与え，警告２回で当該種目を失格とする。ただし，｢Set｣の合図後の｢ピク付き｣は，警告とせず，注意とする。

　(５)トラック種目において，セパレートレーンを使用する種目については，安全確保のため，フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。(曲走路)

　(６)トラック種目の100mは予選をタイムレースで行い，Ａ決勝を予選上位８名までの選手で行い，Ｂ決勝を予選９位から１６位の選手で実施する。トラック種目の300m・600m・110mH・100mH・4×100mRはタイムレースとして実施する。

　(７)オープン100mは，予選をタイムレースで行い，上位８名で決勝を行う。

(８)男女600mはグループスタートし，5000mのグループスタートラインを使用する。

(９)フィールド競技で助走路に使用できるマーカーは，主催者が用意したマーカー２個まで置くことができる。ただし砲丸投のマーカーは１つとする。

(10)走高跳におけるバーの上げ方

|  |  |
| --- | --- |
| 男子　 | 145 165 185 (練習)　　150 – 155 – 160 – 165 – 170 – 175 – 180 - 185(以降3cm) |
| 女子 | 125 140 150 (練習)　　130 – 135 – 140 – 145 – 150 – 155(以降3cm) |

※バーの上げ方はコンディション等により，変更することもある。

(11)男子三段跳の踏切板の位置は11m00に設置する。

(12)投てき競技に出場する競技者は，役員の指示に従い，事故防止に十分注意すること。

７．競技用具について

　(１)本大会に使用する器具は，競技場に備え付けのものを使用する。(やりの検定を行わないため，備え付けのやりを使用すること。**)**

８．練習について

(１)メイン競技場については，７：３０～９：１０まで練習することができる。サブ競技場(だいぎん

グラウンド)が使用できないため，９：１０以降終日バックストレート等を使用して練習をするこ

とができる。その際，競技役員の指示に従い，他の競技の妨げにならないようにすること。

　(２)跳躍競技・投てき競技に練習は，競技場内において審判員の指示のもとに，競技開始前に実施する。

　(３)雨天練習場を使用する場合は，安全に十分配慮して練習を行うこと。

９．その他

　(１)選手受付は，B2エントランスホールで8：00より行う。

　(２)大会プログラムは，当日，正面玄関で販売する。また，参加チームへの無料配布は行わない。予め，アスリートランキングからプリントアウトして持参すること。

　(３)場所取りは，ガムテープの使用を禁止とする。養生テープのみ使用可。(西ゲートインフォメーションで販売)

　(４)グラウンドレベルの会議室前廊下は，スパイクを履いての通行を禁止する。

　(５)記録はアスリートランキング内で発表し，掲示は行わない。記録や決勝番組編成はアスリートランキング内で確認すること。

　(６) スプリント記録会（300m，600ｍ）の記録は，参考記録として扱う。